

○基本情報

記載日 平成28年2月15日

団体名	(旧)公益財団法人先端医療振興財団	所管局名	企画調整局
設立目的	神戸医療産業都市の中核的支援機関として、先端医療の臨床研究や技術開発を行い、医療サービス水準の向上と医療関連産業の集積形成に寄与する。		

M

市が団体に求めるMission
Mission

長期	神戸医療産業都市の中核的支援機関として、産学官の連携による先端医療の臨床研究や技術開発を行い、次世代の医療システムの構築を通じて、医療サービス水準の向上と医療関連産業の集積形成に寄与する。
5年	<ol style="list-style-type: none"> これまで培ってきた研究・開発および基礎研究から臨床研究への橋渡しに関する財団のノウハウを活かし、再生医療、医薬品、医療機器の研究・開発・臨床応用およびそれらに対する総合的支援を行うこと 医療関連の進出企業や地元中小企業等の活動への支援のほか、神戸医療産業都市内の機関・企業をつなぐ調整機能を担い、事業化推進をはかること インシリコ創業のアプリケーション開発、(仮称)アイセンター病院の開設など、科学技術の進歩や社会情勢に応じ、医療産業都市の発展に向けた新たな取り組みを推進すること <p>※国の制度、クラスターの状況、企業等の求めるニーズに応じて、適宜ミッションを見直すものとする。</p>

V

市民に提供する価値
Value

1	新たな医療技術に関する研究シーズを持つ研究者にとって、基礎研究成果を臨床へ橋渡しすることが容易になる。また、その結果、市民にとって最先端の医療が受けられるようになる。
2	神戸医療産業都市進出企業や地元中小企業にとって、創業や医療機器開発に関する相談、ビジネスマッチング、薬事申請に関する助言などを受けることにより、より多くのビジネスチャンスが生まれ、実用化が容易になる。また、その結果、市民にとって最先端の医療が受けられるようになる。
3	市民にとって、下記のような新たな取り組みを行うことなどにより、最先端の医療が受けられるようになる。 【インシリコ創業】 スパコン用アプリケーションの開発によるインシリコ創業拠点の形成 【(仮称)神戸アイセンター病院】 ・眼疾患に係る最先端の医療技術の実用化を行うとともに、市民に対していち早く提供する。

T

事業目標
Target

A	15件の研究シーズについて、基礎研究の成果を迅速に臨床に橋渡しするための支援を実施
B	<ul style="list-style-type: none"> ・神戸医療機器等事業化促進プラットフォームにおける事業化の促進(2件/年) ・サポートプラザ・ビジネス支援相談件数(200件/年) ・創業イノベーション拠点構築:共同研究3件
C	<p>【インシリコ創業】 スパコン「京」を用いた創業計算ソフトの開発 【(仮称)神戸アイセンター病院】 開業:平成29年度中</p>

○基本情報

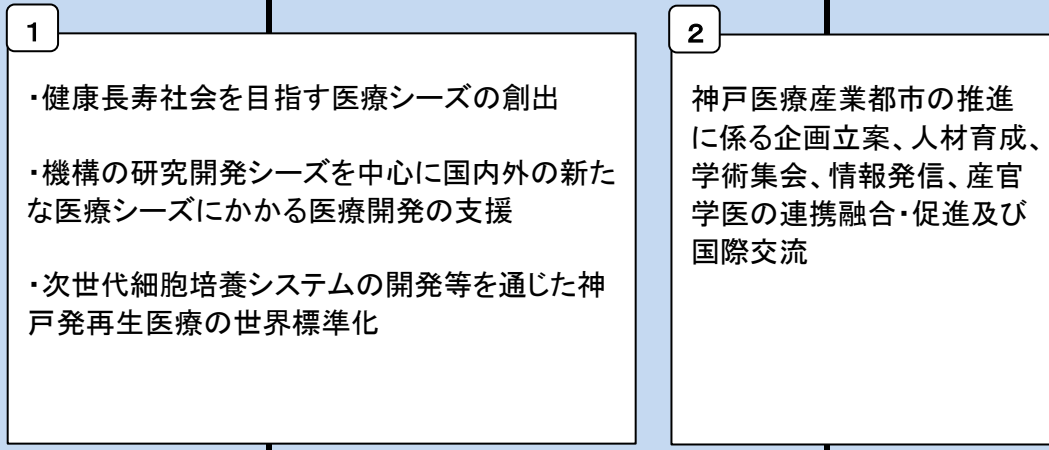
記載日 平成30年8月27日

団体名	公益財団法人神戸医療産業都市推進機構	所管局名	企画調整局
設立目的	神戸医療産業都市の中核的支援機関として、先端医療の臨床研究や技術開発を行い、医療サービス水準の向上と医療関連産業の集積形成に寄与する。		

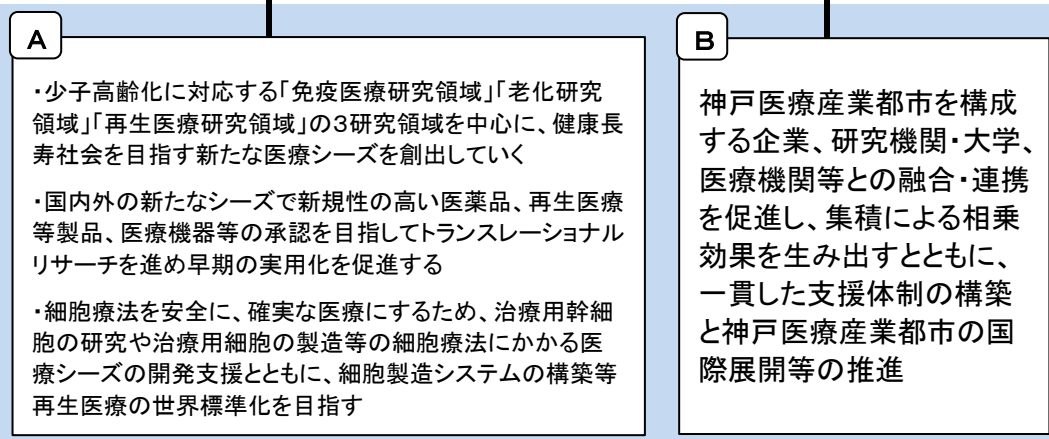
M
市が団体（市民）に求めるミッション
Mission

長期	神戸医療産業都市の中核的支援機関として、産官学医の連携・融合を促進する総合調整機能を担うとともに、先端医療の実現を資する研究開発および臨床応用の支援、次世代の医療システムの構築を通じて、革新的医療技術の創出と医療関連産業の集積形成に寄与する。
5年	1. 革新的医療技術の社会実装 2. 産官学医の連携・融合によるイノベーションの創造 ※実施事業の現状や医療現場・市場ニーズの動向等に即して、適宜ミッションを見直す。

V
市民に提供する価値
Value



T
事業目標
Target



平成29年度 ミッションの達成評価シート1 [1次評価]

		記載日	平成30年8月27日
団体名	公益財団法人神戸医療産業都市推進機構	所管局名	企画調整局

○団体による自己評価[1次評価]

事業No.	1-A	主要事業(様式1-3)との関わり	あり(事業1、3、4、5)
H29事業目標	研究シーズについて、基礎研究の成果を迅速に臨床に橋渡しするための支援の推進(5カ年で15件)		
H29実績評価	継続支援中案件 11件 ・ICR推進会議の支援シーズ9件 ・メディカルクラスター連携推進委員会の支援シーズ2件 支援終了案件 4件 上記の15件の臨床開発マネジメントを実施し、PMDA事前面談、全般相談、関係の委員会等への申請支援、また企業連携や海外展開など臨床開発案件の早期実用化に向けて着実に進めている。		評価 S (A) B C
	H30事業目標	当機構は平成30年4月より発展的に改組し、新たな経営計画(平成30年4月～35年3月)を策定したため、前年度からMVTシートを変更することとした。 ・研究シーズについて、基礎研究の成果を迅速に臨床に橋渡しするための支援の推進(5カ年で15件) ・全国のアカデミアのデータセンターとして全国の臨床試験および臨床研究の支援、医療・臨床研究情報配信機能の強化(TRI設立15周年記念シンポジウム開催(9/29)およびNCCNガイドライン日本語版等の運営) ・細胞製造の製造および製造支援事業の実施(細胞製造体制の整備、治験等製造受託)	
評価担当者	経営企画部企画財務課長 藤井 宏詞		

事業No.	2-B	主要事業(様式1-3)との関わり	あり(事業2、6)
H29事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機器等事業化促進プラットフォームにおける事業化の促進 3件 ・サポートプラザ・ビジネス支援相談件数 200件 ・創薬イノベーション拠点構築 共同研究 3件 		
H29実績評価	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機器等事業化促進プラットフォームにおける事業化の促進 → 4件 ・サポートプラザ・ビジネス支援相談件数 → 224件 ・創薬イノベーション拠点構築 共同研究 → 共同研究4件(内3件は前年度から継続契約、1件は単年度契約) 		評価
			<p>S</p> <p>⊙ A</p> <p>B</p> <p>C</p>
H30事業目標	<p>当機構は平成30年4月より発展的に改組し、新たな経営計画(平成30年4月～35年3月)を策定したため、前年度からMVTシートを変更することとした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産官学医連携の促進によるオープンイノベーションの推進 (オープンイノベーションプログラム実施5カ年で5件以上) ・国際展開の推進 (海外展示会等の出展支援10件以上) ・地元中小企業・神戸クラスター進出企業に対する事業化支援 (事業化支援ワンストップ相談件数150件) ・研究・操業環境の充実と戦略的な情報発信 (都市運営委員会の設置・運営、20周年記念式典開催(10/19)) 		
評価担当者	経営企画部企画財務課長 藤井 宏詞		

事業No.	3-C	主要事業(様式1-3)との関わり	あり(事業2)
H29事業目標	<p>【インシリコ創薬】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライセンス販売件数:3件 ・創薬アプリケーションVer2.0既存機能強化、FMO量子化学計算を実装 ・受託計算:1件(ライセンス販売につながる案件を重点化) <p>【神戸アイセンター病院】</p> <p>病院の開設・運営開始(運営主体は神戸市民病院機構に変更)</p>		
H29実績評価	<p>【インシリコ創薬】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製薬企業2社、アカデミア4校に対し、創薬アプリケーション「K4」の評価ライセンスの利用募集を開始するなど販売に向けた活動を行った。 ・創薬計算ソフトの開発 → 以下の機能の実装を行いVer3.0を完成させた。 ①これまでの動作検証で得られた課題を踏まえた既存機能の改良を行った。 ②フラグメント間相互作用エネルギー算出方法の一つである「FM O法」の実装に取り組んだ。 ・受託計算については、研究機関からシミュレーション解析業務を1件受託したほか、受注に向けた協議を行った。 <p>【神戸アイセンター病院】</p> <p>平成28年7月に同病院の運営主体が神戸市民病院機構に変更。中央市民病院と先端医療センター病院の眼科機能を集約・拡充し、平成29年12月に開設。</p>		評価
			S A B C
H30事業目標	<p>当機構は平成30年4月より発展的に改組し、新たな経営計画(平成30年4月～35年3月)を策定したため、前年度からMVTシートを変更することとした。</p>		
評価担当者	経営企画部企画財務課長 藤井 宏詞		

平成29年度 ミッションの達成評価シート2 [2次評価]

		記載日	平成30年9月14日
団体名	公益財団法人神戸医療産業都市推進機構	所管局名	企画調整局

○所管局による総合評価(ミッションの達成評価)[2次評価]

コメント	<p>【ミッション毎の評価】</p> <p>1. 評価(A) (上記評価の理由) 基礎研究から臨床への橋渡し支援を着実に推進し、事業目標を達成しているため。</p> <p>2. 評価(A) (上記評価の理由) 進出企業・団体や市内中小企業への支援を積極的に実施し、事業目標を達成しているため。</p> <p>3. 評価(B) (上記評価の理由) 神戸アイセンターに関しては計画通り開設・運営開始されたものの、インシリコ創薬については事業目標を達成出来なかったため。</p> <p>【総合評価の理由】 神戸医療産業都市の中核機関として関連企業・団体の支援を精力的に実施し、先端医療技術の開発や医療サービス水準の向上に寄与していると考えられるため。</p>	総合評価
		<p>S</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>C</p>
<p>対応方法</p> <p>(総合評価がB又はCの場合は必ず記載)</p>	/	
評価担当者	企画調整局医療・新産業本部医療産業都市部調査課長 小西 啓輔	